

# 〈鴨川河川整備計画〉 千年の都・鴨川清流プラン 実施状況

令和3年3月15日

※ 委員会での指摘を受け、一部文言を修正しました。

# 鴨川に係る各計画の施策について

鴨川流域懇談会「千年の都と鴨川」	鴨川河川整備計画	I期 水辺の回廊整備・鴨川創造プラン	II期 千年の都・鴨川清流プラン
	計画の対象期間： 30年(H21(2009)～)	プランの対象期間：概ね5年間(H21～H25)	プランの対象期間：概ね5年間(H26～ )
	整備計画の目標	重点施策	重点施策
安心・安全の鴨川をめざして	<p>■洪水による災害の防止又は軽減に関する目標</p> <p>◆河川工事 下流築堤部(桂川合流～七条大橋)の河川改修 七条大橋より上流の治水対策の検討</p> <p>◆ソフト対策 河川情報発信施設、洪水シミュレーション 洪水予測の精度向上等 防災訓練、出前講座</p> <p>◆河川維持 河川構造物の点検・修繕等 中上流部の中州寄州管理</p>	<p>◆治水対策の推進 下流築堤部(桂川～七条)の河川改修 ・測量・調査・設計 ・H25からの工事着手</p> <p>中上流部の中州寄州管理 ・七条大橋～二条大橋 ・二条大橋～柵の堰堤 ・環境調査</p>	<p>◆河川改修の着実な推進 ・低水路拡幅(鳥羽大橋～桂川合流点) p.2～ ・井堰改修(龍門堰) ・高水敷整備 (仏光寺通～五条大橋:右岸)他</p> <p>◆多発する集中豪雨への対応 ・洪水予測の精度向上等 ・河川情報発信施設、洪水シミュレーション</p> <p>◆経験のない大洪水への備え ・治水安全度の向上方策検討(浸水想定区域図)</p> <p>◆適切な維持管理 ・河川構造物の点検・修繕等 p.9 ・中上流部の中州寄州管理(中州管理と生物モニタリング) p.10～</p>
京都の美しい鴨川をめざして	<p>■流水の正常な機能の維持に関する目標</p> <p>◆河川利用と流水の維持 豊かな緑を守る条例などの連携 京都市共生プランとの連携等 雨水貯留・浸透施設の設置</p> <p>■河川環境の整備と保全に関する目標</p> <p>◆水質の保全 下水道管理者との連携</p> <p>◆自然環境の保全 自然環境マップ等の作成 河川愛護の高揚</p> <p>◆景観 鴨川条例に基づく指導 工事看板、占用に対する指導</p>	<p>◆公共空間整備</p> <p>自然環境マップ等の作成</p> <p>アウトドアアクティビティ施設の整備 ・ジョギングロードの整備 ・拠点整備</p> <p>安らぎや憩いを感じるアメニティ施設の整備 ・緑の回廊:鳥羽大橋～御池大橋 ・水とのふれあい回廊:桂川合流点～鳥羽大橋 ・西高瀬背割り堤の整備</p>	<p>◆良好な水辺環境の保全 ・状況の把握</p> <p>◆歴史都市・京都における鴨川の保全 ・鴨川景観のあるべき姿の具体的検討等(室外機対策) p.16</p> <p>◆河川区域内行為の整理 ・不法行為への対策 p.17 ・不適切行為への対策 p.17</p> <p>◆鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出 ・黄昏時利用スポットの充実(照明設置を検討・実施) ・川の自然体験スポットの充実(拠点整備を進める) ・鴨川ギャラリー等の整備 ・四季の彩りスポットの整備(フラワースポット等) ・飛石による回廊ルートの強化 ・水辺環境の保全・再生(魚道設置、瀬・淵再生等) p.18 ・利用者の快適性の向上(光・映像による演出他) ・河川公共空間の適切な維持管理</p> <p>◆NPOや大学、地域との連携・協働 ・鴨川探検等体験学習や環境教育の展開 p.19</p>
親しみやすい層多くなる鴨川の人をめざして	<p>◆河川空間利用 条例・府民会議・バリアフリー等 ジョギングロードの整備 拠点整備 縦断方向の連続性の確保(回廊整備) 西高瀬背割り堤の整備 自転車道整備の検討(桂川合流点～五条大橋) 堤内地を含めた散策コースの検討 鴨川を中心としたまちづくりの誘導</p>		

# 安心・安全の鴨川をめざして

## 鴨川河川整備の概要

### 【鴨川河川整備計画(H22.1策定)】

計画(案)(H21.3策定)

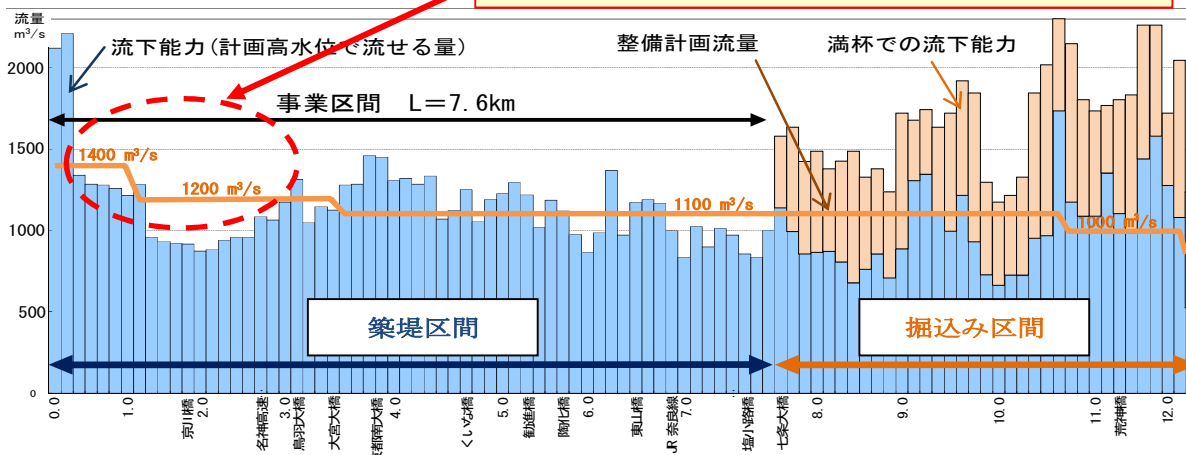
#### 整備区間

流下能力が低い築堤区間  
(桂川合流点～七条大橋約7.6km)

#### 整備内容

概ね1/30での河道拡幅等

下流の流下能力が低い築堤区間に着手



### 【千年の都・鴨川清流プラン】

#### 整備重点区間：最下流部

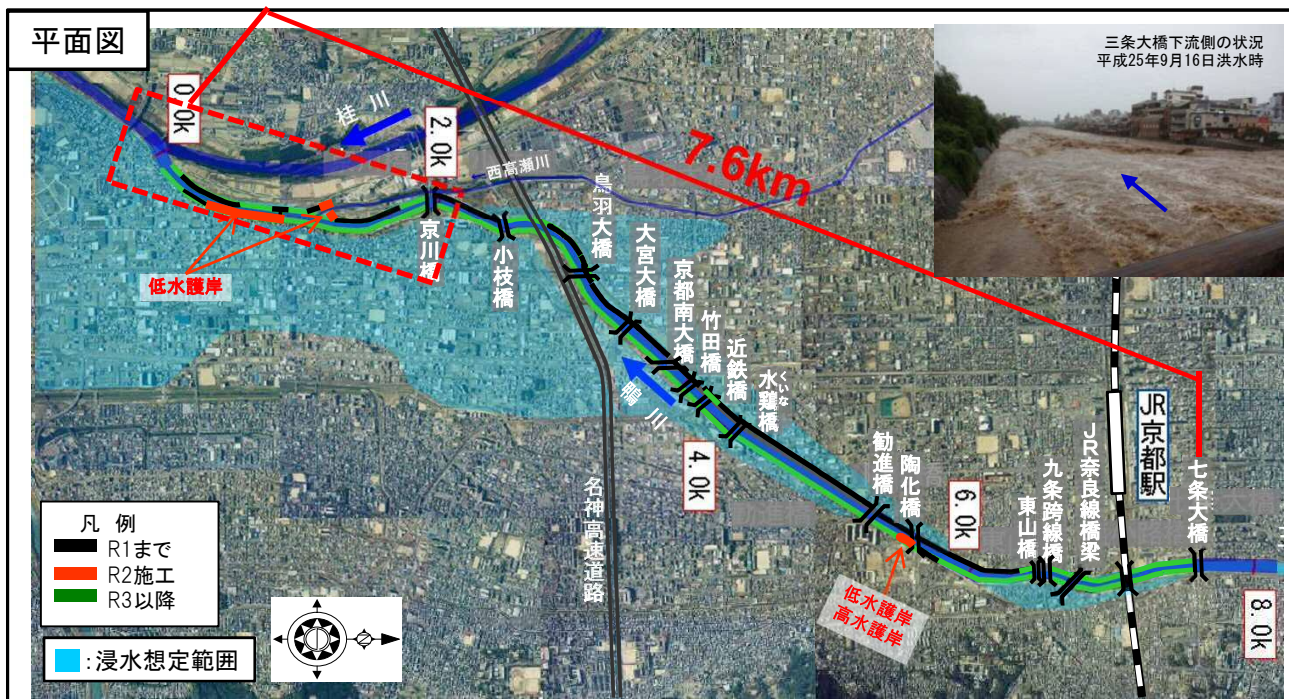
(桂川合流点～鳥羽大橋)

- ① 右岸低水護岸整備
- ② 左岸低水護岸整備 等

#### 整備重点区間：下流部

(陶化橋付近等)

不法占用対策と併せた護岸整備 等





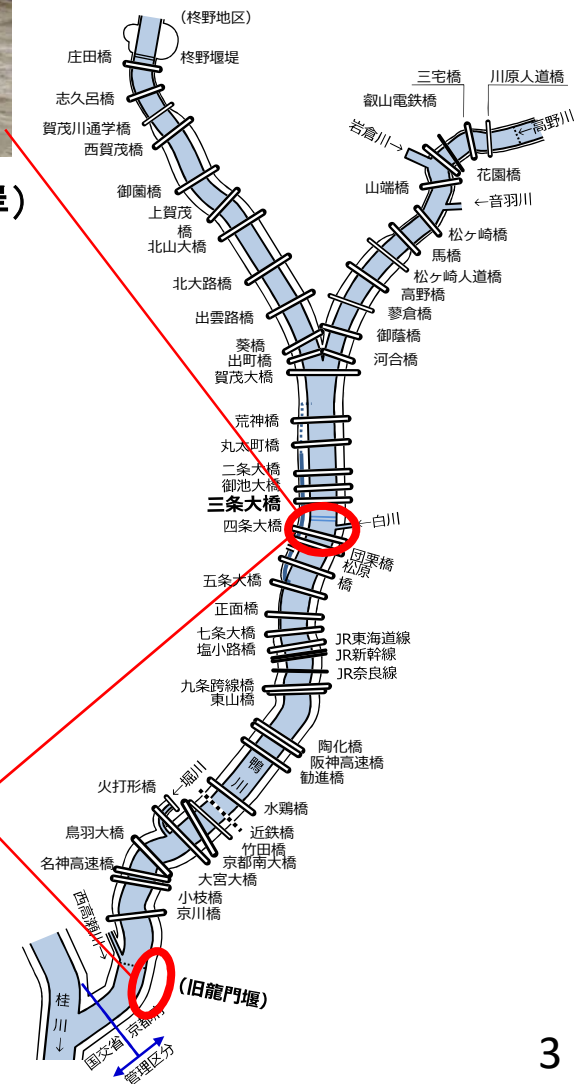
# 安心・安全の鴨川をめざして

## 最近の出水状況(平成25年9月16日台風18号)

### ○高水敷まで冠水



### ○下流では越水による浸水被害が発生 桂川合流点から約1km上流(左岸)



## 最近の出水状況(平成30年7月豪雨)

### ○三条大橋下流で護岸が損傷

鴨川納涼(8/4~5)までに応急対応を完了  
本復旧工事を令和1年5月に完了



# 安心・安全の鴨川をめざして

## 最近の出水状況(令和2年7月豪雨)

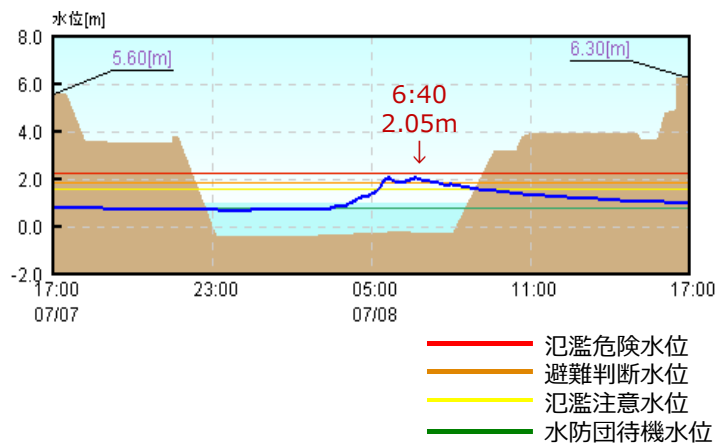


### 【令和2年7月豪雨】

明け方に降雨のピークがあり、午前6時40分には最高水位 2.05mを観測。三條大橋付近の高水敷が冠水し、上流から運ばれてきた流木やゴミなどが散乱した。

しかしながら、大きな被害はなかった。

### 【令和2年7月8日 鴨川<荒神橋地点>水位】





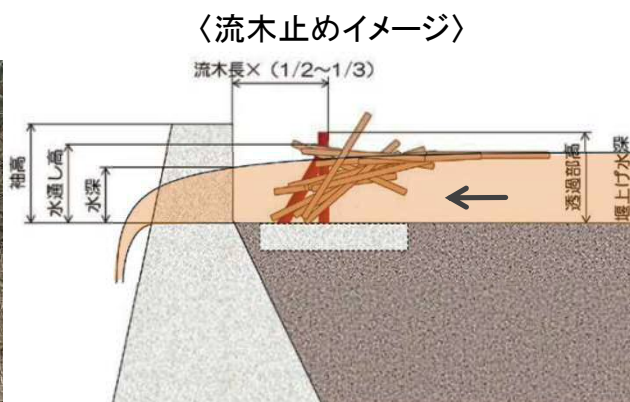
# 安心・安全の鴨川をめざして

## (参考) 上流砂防堰堤に流木止工を設置(R2年度)



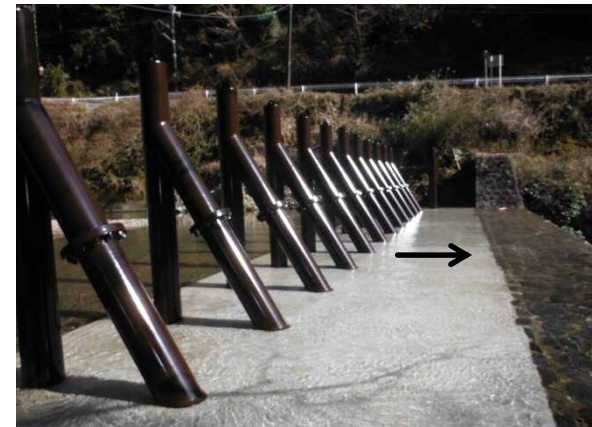
- 出水時に上流域の倒木が流出し、低水路や高水敷等に漂着し、復旧作業の支障となっている。
- 鴨川上流の中津川向山砂防堰堤と、鞍馬川の神山砂防堰堤において、スリット構造による流木捕捉機能を追加する事業を実施中。(神山砂防堰堤は今後施工)

中津川向山砂防堰堤(整備前)



### 流木止工

(中津川向山砂防堰堤 令和2年度完了)





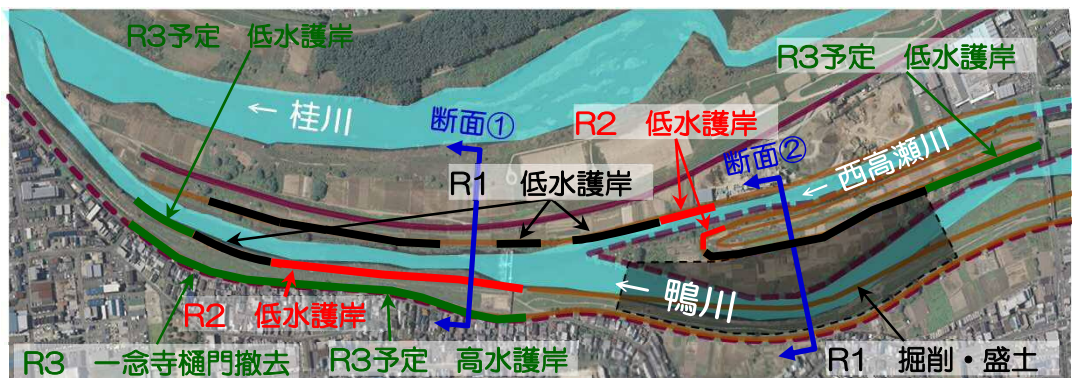


# 安心・安全の鴨川をめざして

河川改修の着実な推進

＜令和2年度の整備状況＞

河積の拡大①～河川敷耕作地の整理～（桂川合流～京川橋）



--- 現在の堤防      — 計画堤防

計画イメージパース（断面②付近）



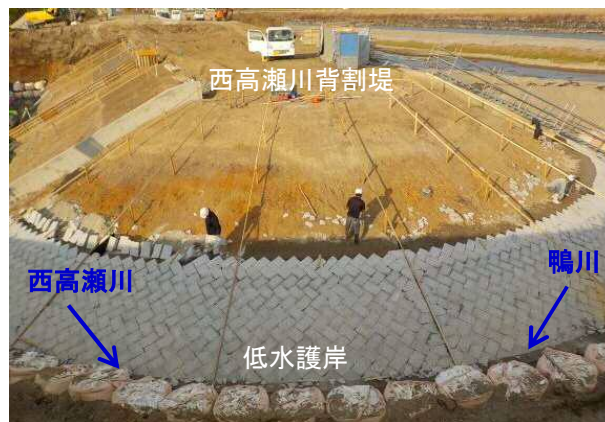


# 安心・安全の鴨川をめざして

## 河川改修の着実な推進

〈令和2年度の整備状況〉

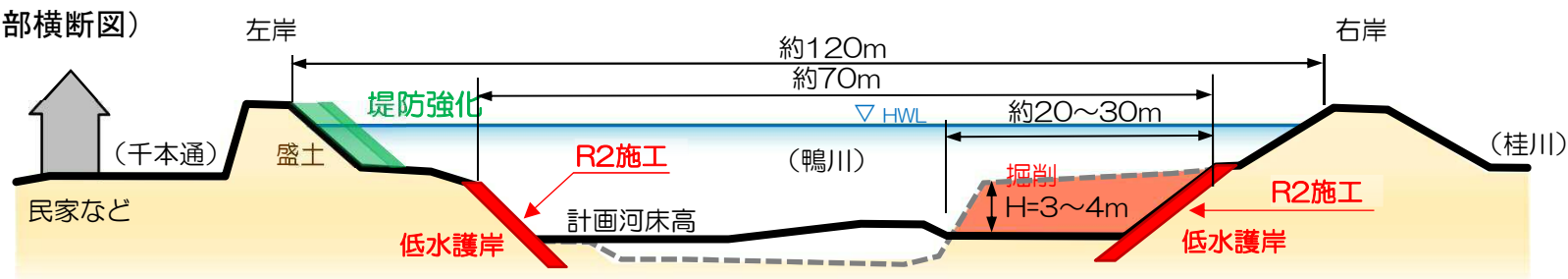
河積の拡大②～低水路の拡幅～（桂川合流～京川橋） 断面①付近



整備中

R2  
低水護岸工 L=550m

(最下流部横断面図)



# 安心・安全の鴨川をめざして（適切な維持管理）

## 河川構造物の点検・修繕等

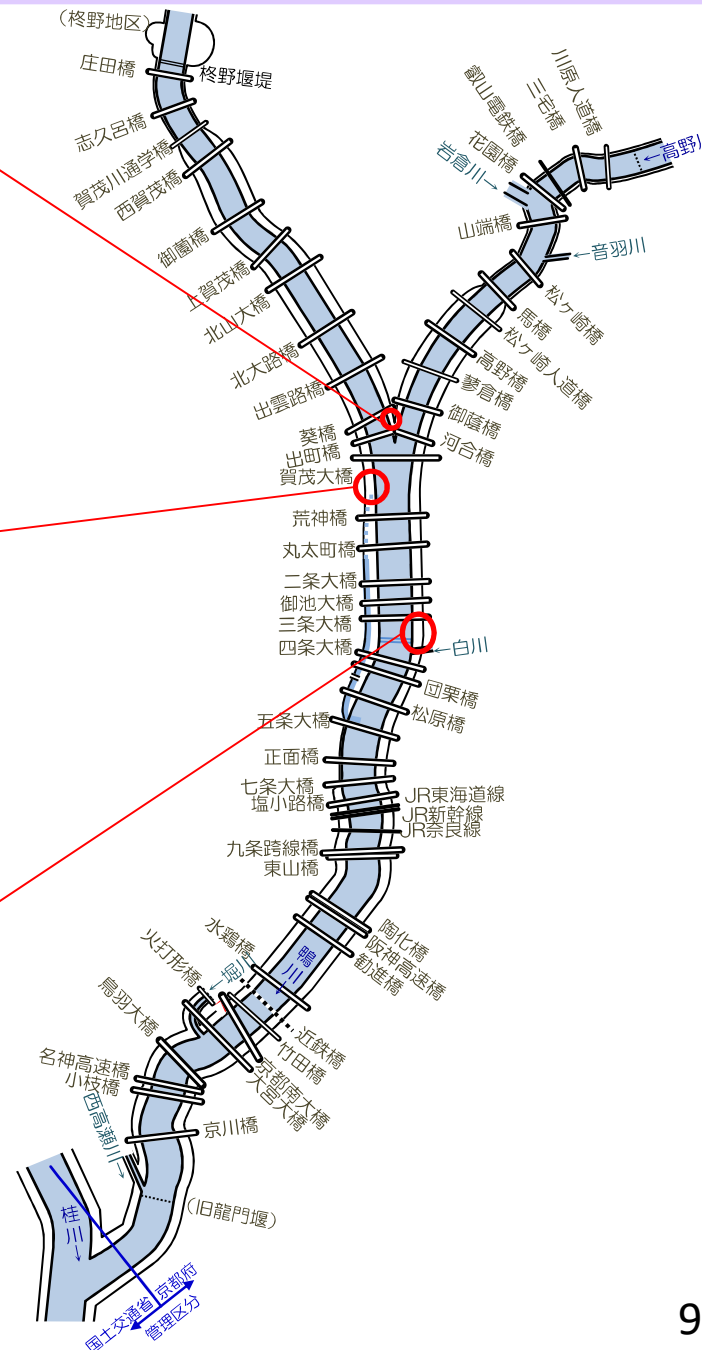
崩落した護岸の修繕（出町橋上流左岸）



崩落した護岸の修繕（荒神橋上流右岸）



空洞化した護岸の復旧（三条大橋下流左岸）





# 安心・安全の鴨川をめざして（適切な維持管理）

## 〈参考〉中上流部の中州寄州管理

### ○柘野堰堤～二条大橋

- これまでの実績から**10年後の堆積高を考慮し、10年後まで治水安全度を確保できない区間（手当をしないとHWLを超える区間）**を対象とし、さらに、危険度に応じてランクA～Dに区分する

#### ランクA

現時点で整備目標洪水に対してHWLを超過する区間

#### ランクB

5年後に整備目標洪水に対してHWLを超過する区間

#### ランクC

10年後に整備目標洪水に対してHWLを超過する区間

#### ランクD

10年後においても整備目標洪水に対してHWLを超過しない

### ○二条大橋～七条大橋

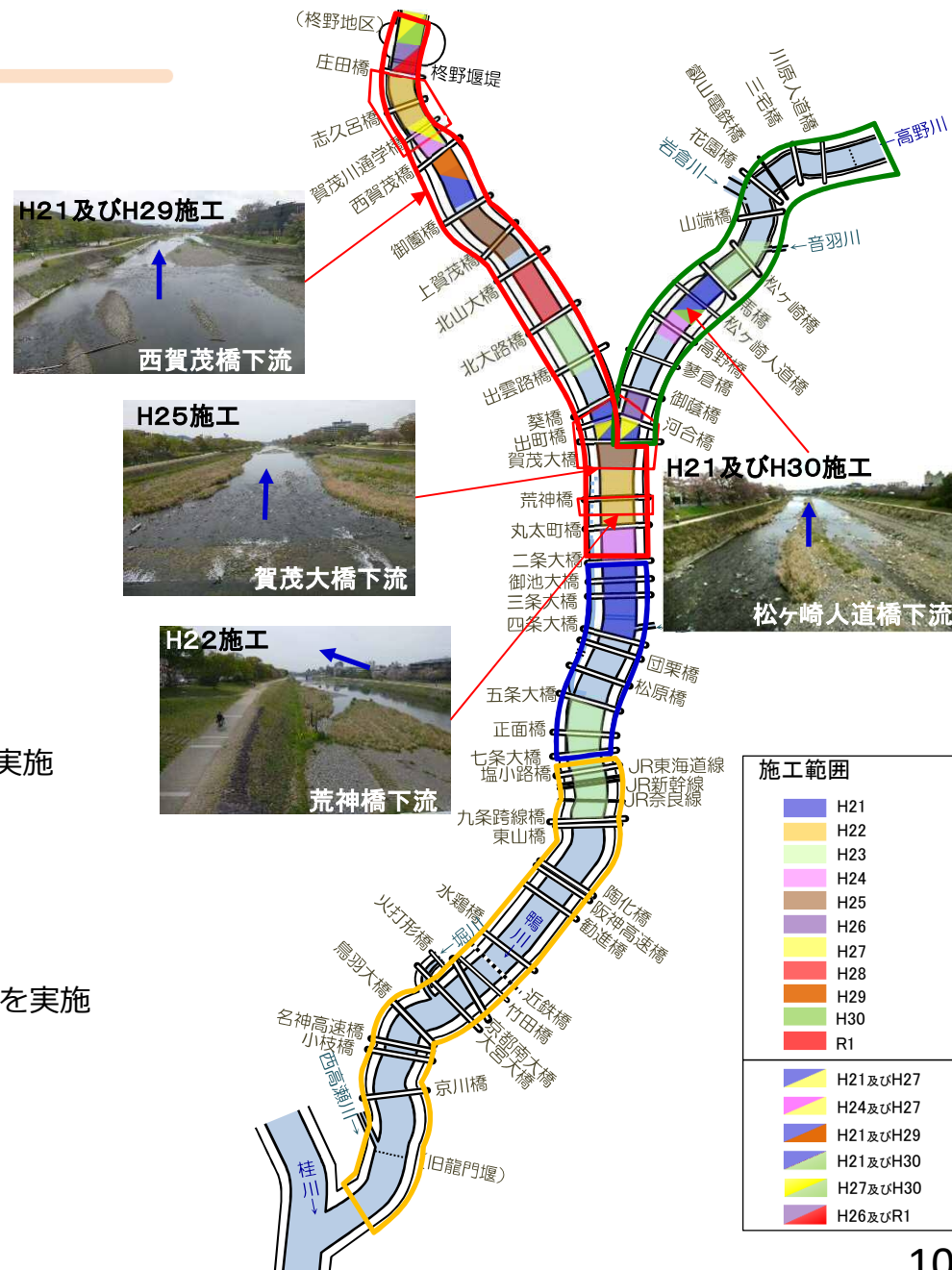
引き続き、土砂の堆積が認められ次第、随時河床整正を実施する。

### ○七条大橋～桂川合流部

整備計画に基づき河川改修とあわせて下流から河床掘削を実施する。

### ○高野川

大きな洪水による土砂堆積が発生した場合に対応する。

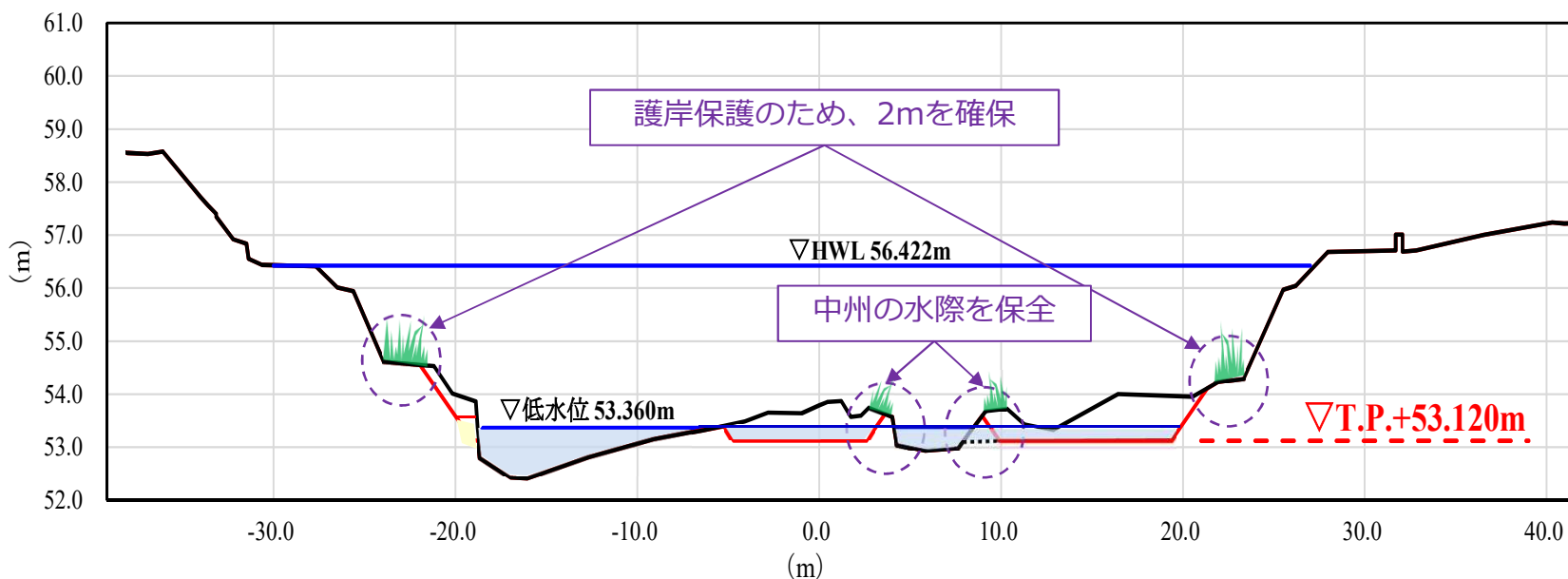


# 安心・安全の鴨川をめざして（適切な維持管理）

〈参考〉中上流部の中州寄州管理

## 河床の掘削方法

参考：葵橋～出雲路橋間の例



- 寄州では深掘れによる護岸の損傷を防ぐため、**護岸付近を幅2m程度残した上で**、掘削を行う。
- また、中州では水際の保全を行うため、**河道水位※から高さ20cm、幅50cm程度を目安に中洲を残す**ように掘削を行う。

※河道水位は、H30年度定期横断測量時の水位を使用



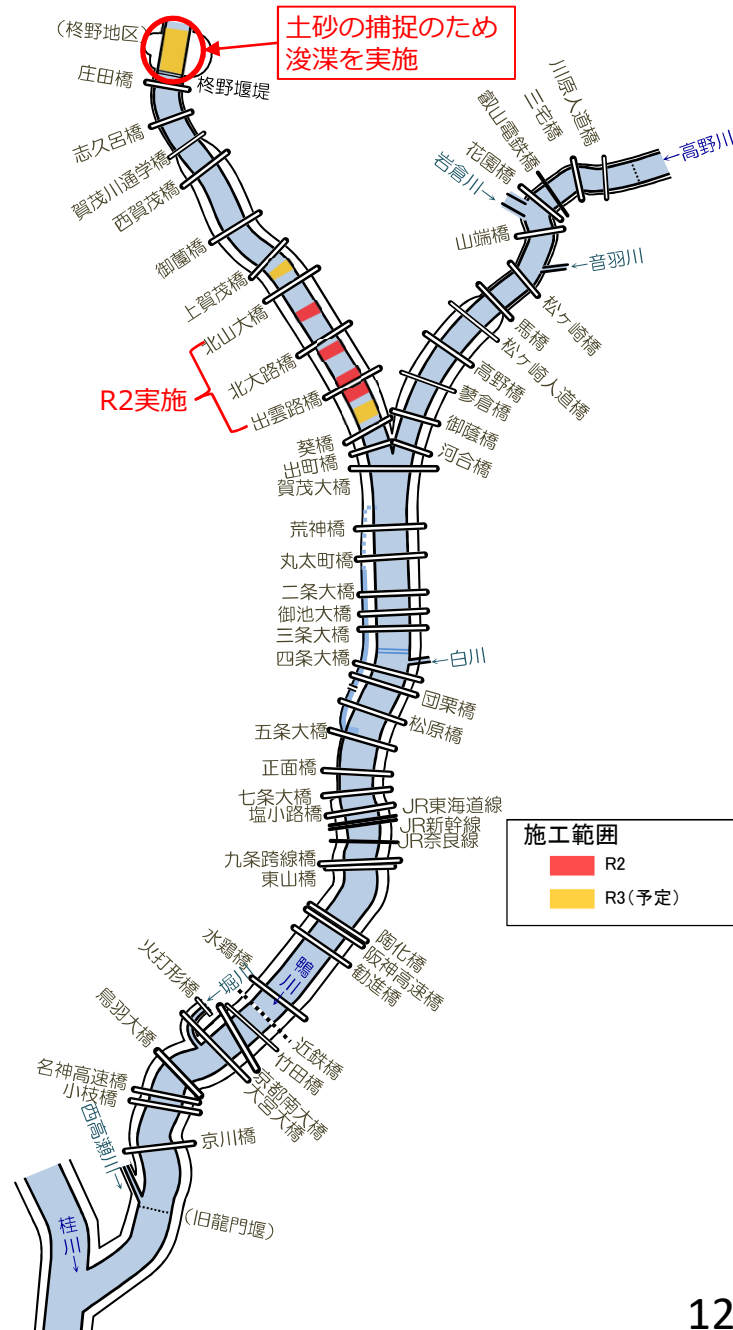
# 安心・安全の鴨川をめざして（適切な維持管理）

## 中上流部の中州寄州管理 〈R2年度実施状況〉

### 出雲路橋下流



### 北大路橋下流



# 安心・安全の鴨川をめざして（適切な維持管理）

## 中州・寄州の管理 <生物モニタリング>

### 水辺環境の保全・再生

河道掘削後に一時的に減少することもあるが、調査年度や洪水の影響等に依存する要因の方が強く、**河道掘削による影響は現れにくい。**

生活型	
遊泳型	泳いで生活するもの（コカゲロウ科等）
匍匐型	よく発達した脚部で、様々な基質上を歩いて移動するもの等（マダラカゲロウ科、カワゲラ科等）
携巣型	様々な材料で作った携帯可能な巣を持って、ゆっくり移動するもの（ヤマトビケラ科等）
造網型	基質表面上に捕獲網と巣を固着させ、その巣の中で生息するもの（ヒゲナガカワトビケラ科、シマトビケラ科等）
固着型	基質表面上に露出して固着しているもの等（ブユ科等）
掘潜型	砂または泥の中に潜り込んで生活するもの等（モンカゲロウ科等）



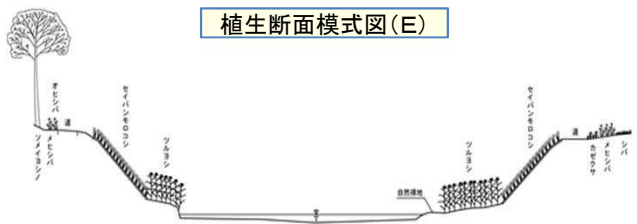
オオバナミズキンバイ

2019年8月に防除実施  
・場所：塩小路橋～五条大橋  
2020年9月に防除実施  
・場所：七条大橋周辺



オオキンケイギク

防除計画に基づき随時防除中



植生断面模式図(E)

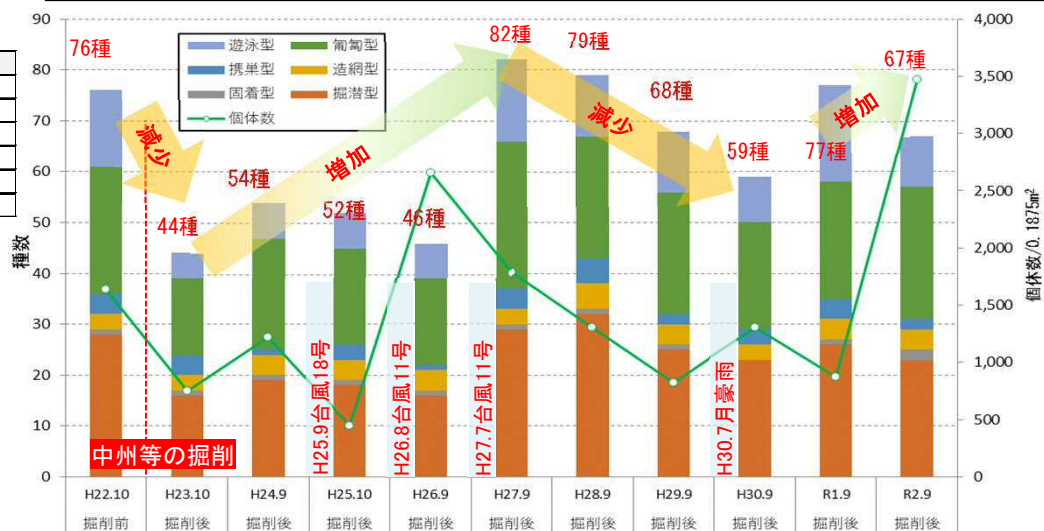
・河道内ではツルヨシが優占し、メリケンガヤツリ、メヒシバなどが生育していた。

・護岸にはセイバンモロコシなど、高水敷にはメヒシバ、カゼクサなどが生育していた。

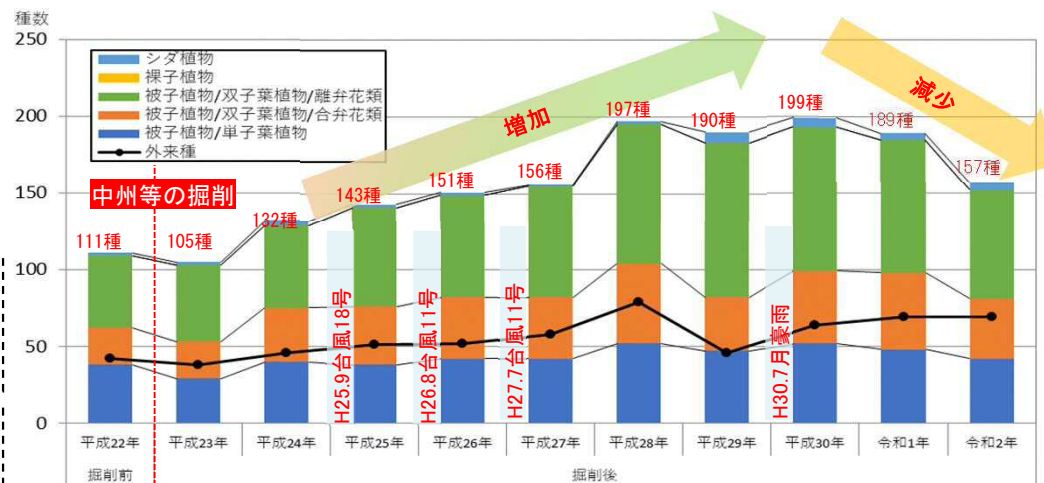
- ・確認種類数：掘削後2年目までに**回復**
- ・重要種：アオガヤツリ、ウシノシッパイ、キカスウリ、ハッカ
- ・特定外来生物：オオカワヂャ

<参考> 調査地点：荒神橋付近(H22年度に施工 代表地区として継続調査を実施)

### 底生生物モニタリング調査…R2調査結果



### 植物モニタリング調査…R2調査結果





# 安心・安全の鴨川をめざして（適切な維持管理）

## 中州・寄州の管理 <生物モニタリング>

### 過去12年間(H21～R2)の調査結果のまとめ

#### 【調査】

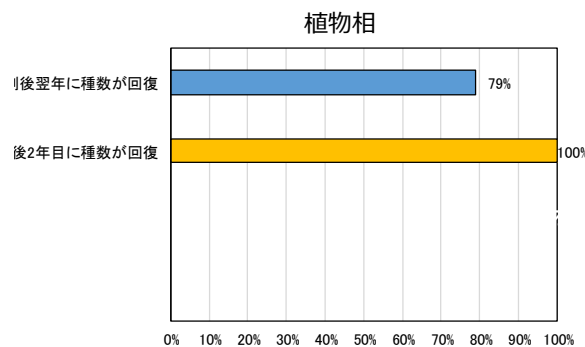
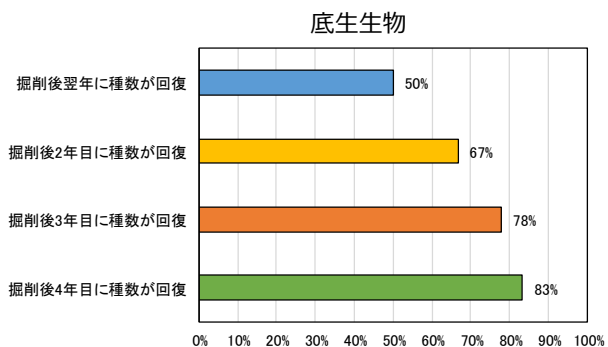
・中州の土砂撤去を行う場所について、掘削前と掘削後2～4年間にわたり延べ約100地点で調査を実施。

#### 【結果】

- ・底生生物の種数は、掘削後翌年に50%、4年目に83%が回復した。
- ・底生生物は大規模な出水の影響で種数の回復が長期化することが多い。
- ・植物相の種数は、掘削後翌年に79%、2年目までに100%が回復した。
- ・植物種数は、長期的には掘削前より増加する傾向がある。

#### 【調査結果から分かること】

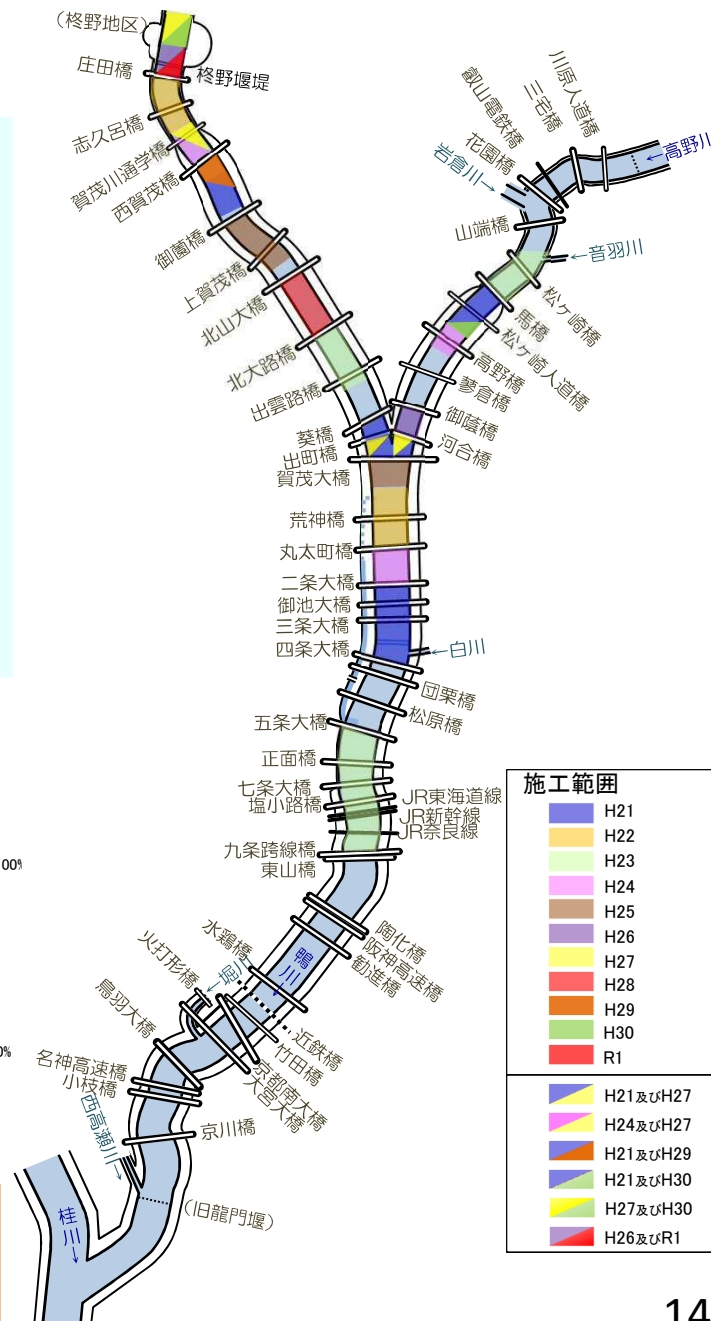
- ・種数への影響は掘削より大規模出水の方が大きい。
- ・1年に掘削する範囲を分割して施工すれば、環境に与える影響を極めて小さい。むしろ攪乱されて、より種が多様化するケースもある。



※ 7年目までに全箇所種数は回復。回復に時間を要したのは出水の影響が大きいと考える。

### 今後の方針

- ・大規模な範囲の掘削をしない限り、現在のような短期的な調査は必要ないと考えられる。
- ・今後は長期的に「河川水辺の国勢調査」で河川環境の把握を行う。



# 安心・安全の鴨川をめざして（適切な維持管理）

## 中州・寄州の管理 <生物モニタリング>

### 鴨川における河川水辺の国勢調査

河川の自然環境や河川利用の実態を把握する目的で全国109の水系を対象として調査が実施されている。

鴨川においても「魚類調査(5年毎)」、「植物調査、鳥類調査(10年毎)」を実施しており、次回の魚類調査時より「底生生物調査(5年毎)」を追加して継続的な調査を実施する。



投網



夕毛網

### <調査実績と今後の予定>

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
魚類調査		○					○					○					○					○	
鳥類調査			○										○										○
植物調査			○										○										○
底生生物																	○					○	

魚類調査は平成16年度から実施

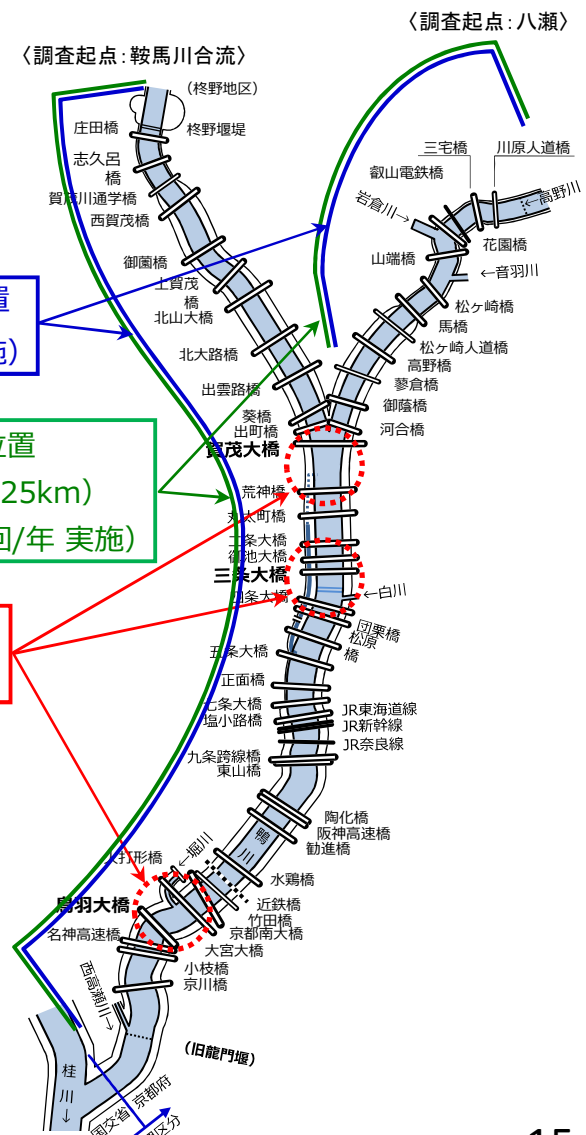
鳥類・植生調査は平成17年度（2回以降10年毎）から実施している

（魚類調査と同サイクルで継続実施）

鳥類調査位置  
(6回/年 実施)

植物調査位置  
(植生図作成 約25km)  
(植生相10地点 2回/年 実施)

魚類調査位置  
(春・秋/年 実施)





# 千年の都・京都の美しい鴨川をめざして

## 歴史都市・京都における鴨川の保全

### 鴨川景観のあるべき姿の具体的検討等

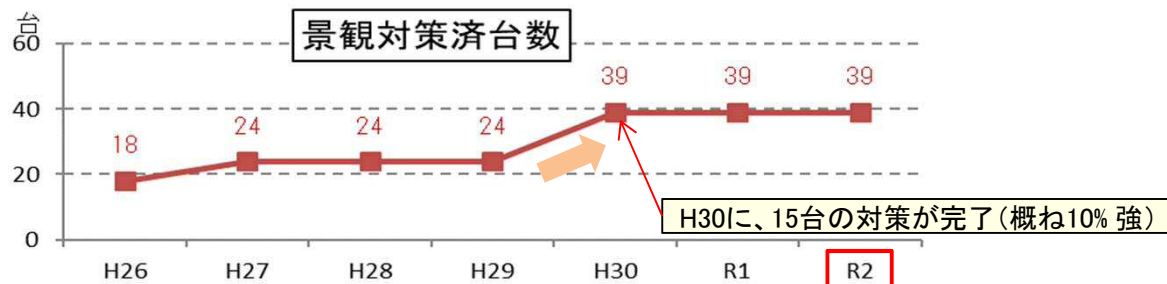
建物等と鴨川が一体となった、歴史都市・京都にふさわしい風情を創出するため、鴨川景観のあるべき姿について検討を実施し、景観形成に資する取組みを実施する。

#### エアコン室外機対策 <鴨川景観対策事業補助金>

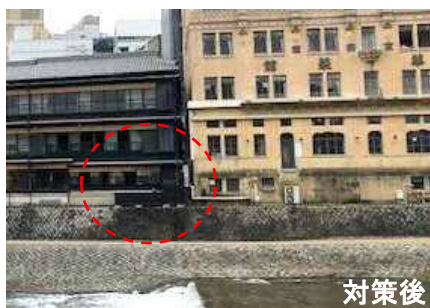
対象区間: 二条大橋~五条大橋の鴨川右岸(西側) 約300台

補助対象者: 対象区間の河川区域に隣接する土地所有者  
又は 使用者が構成員となっている団体

補助額: 上限1万円~4万円を補助(対策の内容による)[最低自己負担額1万円]



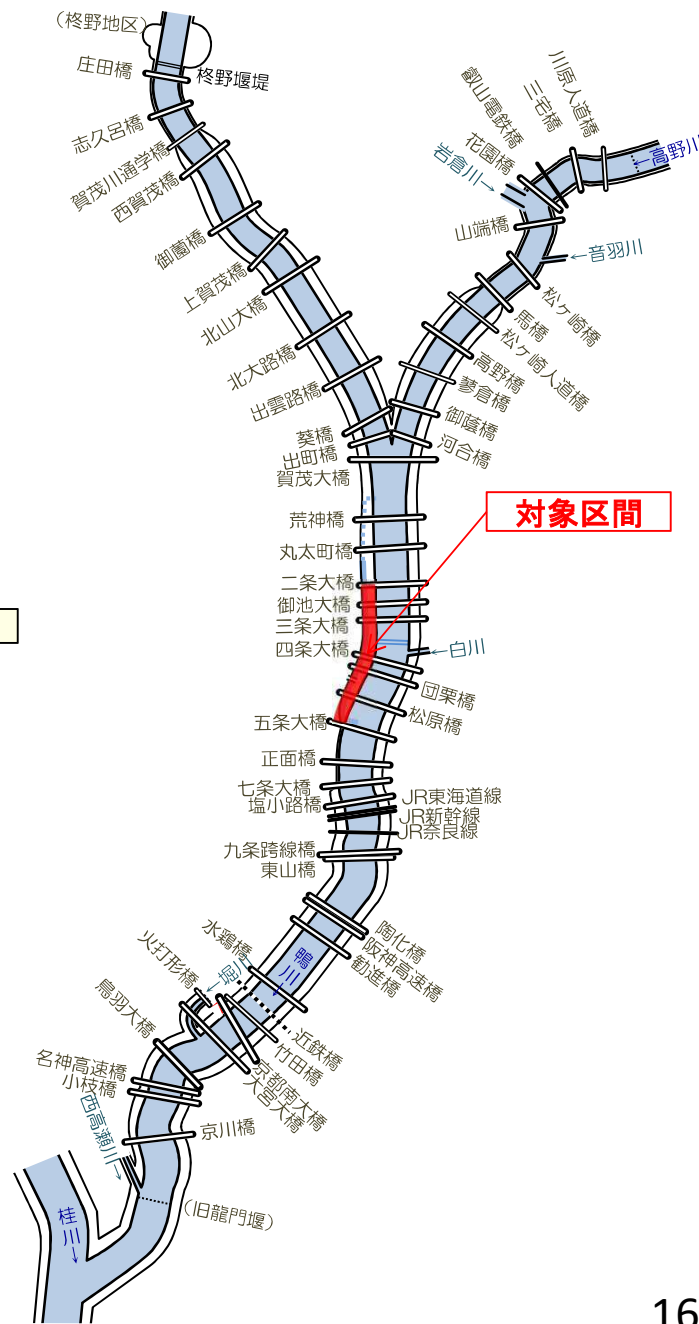
#### 対策事例



#### 課題等

一般的な木材ではなく、木目の美しい木材を使うためコストが高い  
(京都市内産ブランド木材「みやこ杉木(そまぎ)」の現物支給を実施)

官民境界が未確定の場合、河川占用許可できず、補助対象の可否が判断できない  
官民境界確定後は、占用料が発生



# 千年の都・京都の美しい鴨川をめざして

## 河川区域内行為の整理、指導等

河川法違反行為(不法占用、不法工作等)、鴨川条例違反行為(BBQ、打上花火等)への適切な対応

鴨川条例の周知・啓発

### 鴨川条例に基づく指導状況

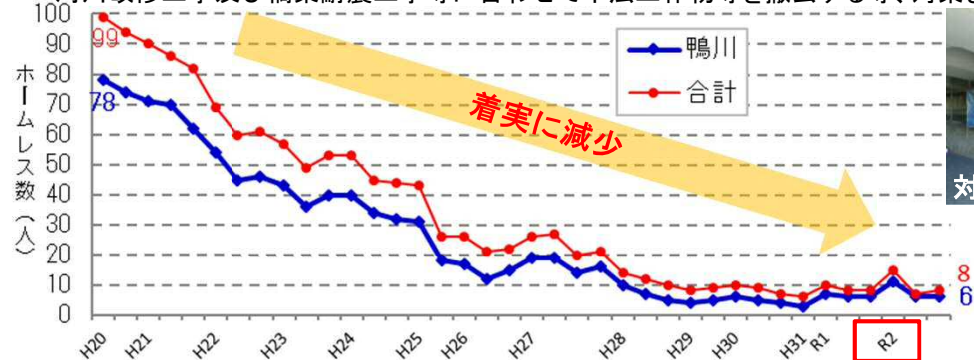
禁止行為が大幅に減少しており、鴨川条例に基づく指導が大きな効果を上げています。



### ホームレス対策

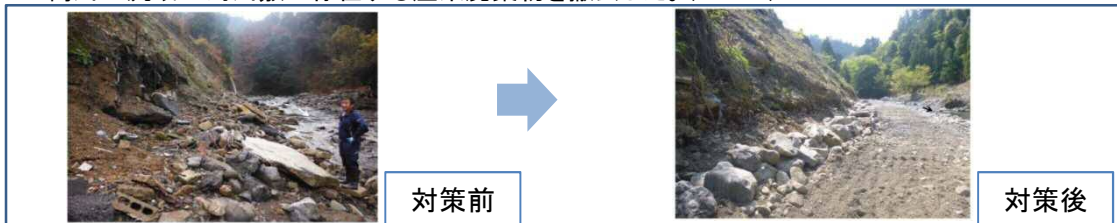
※ 合計・・・高野川・天神川・宇治川派流・西高瀬川・山科川・嵐山公園の合計

河川改修工事及び橋梁耐震工事等に合わせて不法工作物等を撤去する等、対策を進めています。



### 不法行為の対処

鴨川上流域の河川敷に存在する産業廃棄物を撤去した。(～H27)





# より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして

## 鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

### 水辺環境の保全・再生

魚道等の設置により、河川の縦断的な連続性を確保する。  
水陸移行帯の創出など横断的な連続にも配慮し魚類等の生息環境の改善を図る

### 石組み式簡易魚道の設置 < 賀茂川漁業協同組合・府水産課 >



設置直後(H29.5.17)

大雨により損傷(H29.7.1)

練積みで再設置(H30.3施工)  
平成30年7月豪雨で大きな損傷なし

### 簡易魚道の設置 < 京の川の恵みを活かす会 >



三条、丸太町、荒神口の各落差工に簡易魚道を設置  
期間:5月下旬~11月頃

### < 今井堰での遡上実績 >

年度	アユの推定遡上数	計測場所
H28	72,925尾	今井堰
H29	111,363尾	今井堰
H30	22,696尾	今井堰
R1	848尾	今井堰
R2	11,896尾	今井堰

※ 京の川の恵みを活かす会による調査



切欠

今井堰

今井堰に切欠を入れ魚の遡上支援(R1)



魚道ブロック設置

龍門堰下部工撤去に伴う落差部に魚道ブロックを設置(R1)

# 千年の都・京都の美しい鴨川をめざして

## NPOや大学、地域との連携・協働

### 鴨川探検等体験学習や環境教育の展開

鴨川の魅力を改めて発見し、川への理解を深め、防災や河川愛護、自然環境保全への関心と主体的な取り組みの輪を広げてもらう。

#### <アンケート結果> (H25以降を対象)

対象期間: H25~R1 (第31~54弾) <20回開催>

参加人数: 子ども 435人

保護者 342人

計 777人 (延べ人数)

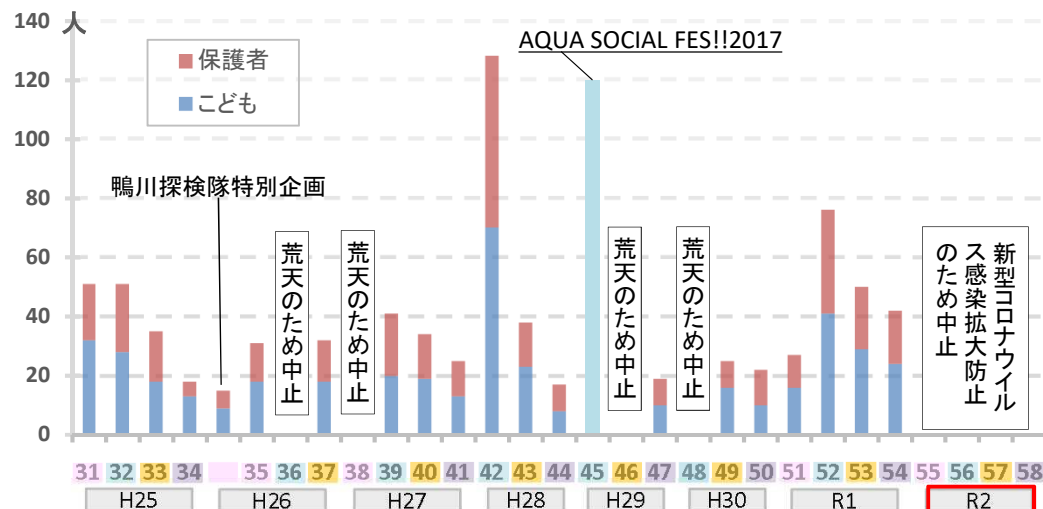
第36、38、46、48弾は中止。R2(第55、56、57、58弾)はコロナで中止。  
 第45弾は「AQUA SOCIAL FES!! 2017」の一環として実施。  
 (計120人が参加<内訳不明のため上記人数に含まず。>  
 第42弾はアンケート実施せず。



野鳥観察会



生き物観察&水質調査



アンケート結果 (H25~R1) (第31~54弾)

#### 【子どもの意見】

##### <見たり聞いたりしたいこと>

- ・魚を観察したい、魚のことを知りたい
- ・今日見られなかった鳥を見たい、鳥について知りたい
- ・虫を見たい、花や葉の種類など他の生き物のことも知りたい
- ・夜だったらどうか
- ・つりがしたい
- ・川の水はどこからながれてくるのか、治水について知りたい

##### <新しく発見したこと>

- ・こんな都会の鴨川にもいっぱい生きものがいたこと、大切にしたい
- ・外来種の植物が多いこと
- ・鴨川の水がきれいでも冷たいということ

春  
夏  
秋  
冬

#### 【保護者の意見】

##### <良かったこと>

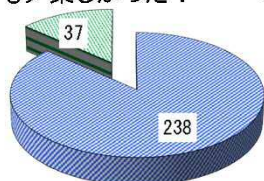
- ・たくさん子どもたちと一緒に体験できた貴重な機会
- ・すぐ先生に質問でき、先生たちがとても丁寧に熱心に教えてくれた
- ・子どもが安全に観察を行えた
- ・鴨川が身近に感じられた
- ・体験した内容を発表までしていた点

##### <改善すべき点>

- ・時間が短い
- ・人が多すぎ
- ・資料の充実(量、写真、事前配布が良い など)
- ・説明の仕方(聞こえにくい、不十分・不正確)
- ・生物種の年次推移が知りたい

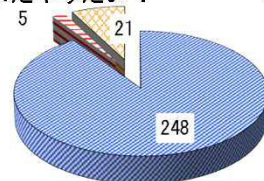
など

#### <子ども>楽しかった?



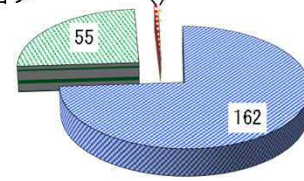
■ものすごく楽しかった  
□少し楽しかった  
■楽しくなかった

#### <子ども>またやりたい?



■またやりたい  
□もうやりたくない  
□わからない

#### <保護者>



■大変満足  
□それなりに満足  
■不満足  
□どちらとも言えない



# 実施（進捗）状況まとめ

(1/3)

## 安心・安全の鴨川をめざして

### ◆河川改修の着実な推進

		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉
低水路拡幅	⇒	実施中 護岸整備等、整備計画に基づき実施中 (鳥羽大橋下流:右岸) R2年度 低水護岸整備中 (勸進橋～水鷄橋:右岸) R2年度 河川区域内行為の整理が一部完了	河川区域内行為の整理の完了に伴い、整備計画に基づく護岸整備等の進捗を図る 桂川合流部(龍門堰下流)の河道掘削は、R3年度に概ね完了予定
井堰改修	⇒	実施中 龍門堰の管理橋・本体上部構造物撤去(H27年度)、下部構造物撤去(R1年度)	R3年度に一念寺樋門(取水用水路)を撤去予定
高水敷整備	⇒	実施中 (勸進橋～京都南大橋:右岸) 勸進橋～水鷄橋付近は整備済み	(勸進橋上流:左岸) 河川区域内行為の整理に努めるとともに、護岸整備等の進捗を図った時点で整備に着手 (水鷄橋～京都南大橋、鳥羽大橋～小枝橋:右岸) 低水および高水護岸が整備され、整備延長が一定まとまった時点で整備に着手

### ◆多発する集中豪雨への対応

		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉
洪水予測の精度向上等	⇒	実施中 Xバンド雨量データを活用した洪水予報システムを構築。降雨データを蓄積し、システムに反映	府内管理河川で6時間先の水位・氾濫時の浸水範囲を予測するシステムの構築をはかり、予測精度の向上を目指す
河川情報発信施設、洪水シミュレーション	⇒	実施中 水位計の増設(H26年度:小枝橋) 河川監視カメラ増設(R1年度:大原、松ヶ崎橋)	わかりやすい情報発信の検討

### ◆経験のない大洪水への備え

		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉
治水安全度の向上方策検討	⇒	実施済 浸水想定区域図の見直し(H30年度公表) (対象降雨:1/100→概ね1/1000程度)	洪水予報区間より上流区間についても作成予定

### ◆適切な維持管理

		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉
河川構造物の点検・修繕等	⇒	実施中 計画的な点検・修繕に加え、出水時等には随時点検・修繕を実施	長寿命化計画等に基づき、適切な点検・修繕を継続より詳しい点検を実施するため、最新技術の活用等を検討

# 実施（進捗）状況まとめ

(2/3)

中上流部の中州・寄州の管理	⇒ 実施中	R1年度に方針決定した中州管理方針に基づき、R2年度から、土砂堆積状況を確認しながら河床整正・定点観測を実施	R1年度に作成した方法に基づき、土砂堆積状況の変化を確認しながら進めていく 土砂撤去に伴う環境調査は、河川水辺の国勢調査によるモニタリングに移行
---------------	-------	--	---

## 千年の都・京都の美しい鴨川をめざして

### ◆良好な水辺環境の保全

		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉
流況の把握	⇒ 実施中	R2年度 7月豪雨時に高水観測実施 これまで台風等の出水時に流量観測を実施(H26台風11号、H27台風11号、H30 7月豪雨 等)	高水流量観測については、観測地点を増やすなど流況の把握に努める。 低水流量観測については、大きな河床変動等断面形状の変化があった場合に観測する。

### ◆歴史都市・京都における鴨川の保全

		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉
鴨川景観のあるべき姿の 具体的検討等	⇒ 実施中	エアコン室外機の景観対策を実施中(H30に15台の対策完了、計39台対策済)	啓発活動の推進。市との連携による対応

### ◆河川区域内行為の整理

		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉
不法行為への対策	⇒ 実施中	がれき撤去、ホームレス対策を実施鴨川条例の浸透と巡視、指導により違反件数の減少	不法行為は着実に減少しており、引き続き対策を継続するとともに、パトロールを継続し再発防止を図る

		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉
不適切行為への対策	⇒ 実施中	府民会議において、「バーベキューのあり方」「タバコポイ捨て防止」「啓発看板等の整理・統合の検討」などを議論してきたところ	新たな課題への対応も含め、府民会議での議論を継続する

## より一層多くの人から親しまれる鴨川を目指して安心・安全の鴨川をめざして

### ◆鴨川の持つ魅力”楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉
黄昏時利用スポットの充実	⇒ 未実施		夜間に河川内に人を呼び込むことによるリスクに対して、安全対策の検討が課題



# 実施（進捗）状況まとめ

(3/3)

川の自然体験スポットの創出	⇒	未実施	最下流部の河川改修に合わせて親水空間となる拠点整備を検討
鴨川ギャラリー等の整備	⇒	実施中	(全10箇所を計画)順次設置中。H29年度までに8箇所の設置済。 予定数を概ね完了(残り2箇所は、園路幅が狭く高水敷も低いなど設置困難) 今後の利用促進・維持管理(更新・清掃等)が課題
四季の彩りスポットの整備(フワースポット等)	⇒	未実施	整備後の維持管理(管理者・費用等)が課題
飛石による回廊ルート強化	⇒	実施中	西賀茂橋上下流の既設飛石を、下流に統合して復旧済み 「御池～七条間」は流速・水深等から設置不可 情報提供と園路整備については引き続き検討
水辺環境の保全・再生(魚道設置、瀬・淵再生等)	⇒	実施中	落差工修繕時に、治水上支障のない範囲で遡上しやすい形状等に配慮して施工 龍門堰撤去部に魚道を設置(R1年度) 今井堰に切欠を入れ魚の遡上支援(R1年度) 水産課による仮設魚道の設置(葵橋上流) 改築工事に合わせて検討 流下能力を阻害しない構造の検討が必要
利用者の快適性の向上(光・映像による演出他)	⇒	実施中	「京の七夕」でのプロジェクションアート 「桜ライトアップ」、「鴨川茶店」「勸進橋フェスタ」など 安全対策・開催費用が大きな課題 民間(企業・NPO等)との連携を進める
河川公共空間の適切な維持管理	⇒	実施中	計画的な点検・修繕に加え、出水時等には随時点検・修繕を実施 長寿命化計画等に基づき、適切な点検・修繕を継続より詳しい点検を実施するため、最新技術の活用等を検討
◆NPOや大学、地域との連携・協働		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉
鴨川探検等体験学習や環境教育の展開	⇒	実施中	「鴨川探検！再発見！」を継続実施。(H25年度～R1年度で20回開催) R2年度はコロナで開催せず(のべ参加者:計897人(子ども435人、保護者342人)+内訳不明120人) 第45弾では民間イベントと連携して実施 内容の拡充や地域との連携・協働等、活動の展開を必要に応じて検討